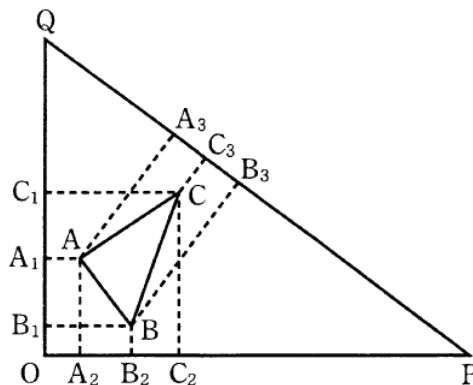


数学演習(河野) 確認テスト 冬期No. 2 A-Type

第1問 (センター試験・本試験・平成17年)

座標平面上の3点 $O(0, 0)$, $P(4, 0)$, $Q(0, 3)$ を頂点とする三角形 OPQ の内部に三角形 ABC があるとす。 A, B, C から直線 OQ に引いた垂線と OQ との交点をそれぞれ A_1, B_1, C_1 とす。 A, B, C から直線 OP に引いた垂線と OP との交点をそれぞれ A_2, B_2, C_2 とす。 A, B, C から直線 PQ に引いた垂線と PQ との交点をそれぞれ A_3, B_3, C_3 とす。

A_1 が線分 B_1C_1 の中点であり, B_2 が線分 A_2C_2 の中点であり, C_3 が線分 A_3B_3 の中点であるとする。



$\vec{AB} = (x, y)$, $\vec{AC} = (z, w)$ とおく。 A_1 が線分 B_1C_1 の中点であるから $w = \boxed{\text{ア}}$ y である。 B_2 が線分 A_2C_2 の中点であるから $z = \boxed{\text{イ}}$ x である。線分 AB の中点を D とすると, C_3 が線分 A_3B_3 の中点であるから

$$\vec{CD} \cdot \vec{PQ} = \boxed{\text{ウ}}$$

である。また

$$\vec{PQ} = \left(\boxed{\text{エオ}}, \boxed{\text{カ}} \right), \vec{CD} = \frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}} \left(\vec{AB} - \boxed{\text{ケ}} \vec{AC} \right)$$

であるから

$$y = \frac{\boxed{\text{コサ}}}{\boxed{\text{シ}}} x$$

である。したがって

$$\vec{AB} = x \left(1, \frac{\boxed{\text{コサ}}}{\boxed{\text{シ}}} \right), \vec{AC} = x \left(\boxed{\text{イ}}, \frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}} \right)$$

である。ゆえに

$$AC = \frac{\boxed{\text{ソ}} \sqrt{\boxed{\text{タチ}}}}{\boxed{\text{ツ}}} AB, \cos \angle BAC = \frac{\sqrt{\boxed{\text{テト}}}}{\boxed{\text{ナニ}}}$$

である。

第2問 (センター試験・本試験・平成18年)

平面上の三つのベクトル \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} は

$$|\vec{a}| = |\vec{b}| = |\vec{c}| = |\vec{a} + \vec{b}| = 1$$

を満たし, \vec{c} は \vec{a} に垂直で, $\vec{b} \cdot \vec{c} > 0$ であるとする。

(1) \vec{a} と \vec{b} の内積は

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{\boxed{\text{アイ}}}{\boxed{\text{ウ}}}$$

である。また

$$|2\vec{a} + \vec{b}| = \sqrt{\boxed{\text{エ}}}$$

であり, $2\vec{a} + \vec{b}$ と \vec{b} のなす角は $\boxed{\text{オカ}}^\circ$ である。

(2) ベクトル \vec{c} を \vec{a} と \vec{b} で表すと

$$\vec{c} = \frac{\sqrt{\boxed{\text{キ}}}}{\boxed{\text{ク}}} (\vec{a} + \boxed{\text{ケ}} \vec{b})$$

である。

(3) x, y を実数とする。ベクトル $\vec{p} = x\vec{a} + y\vec{c}$ が

$$0 \leq \vec{p} \cdot \vec{a} \leq 1, \quad 0 \leq \vec{p} \cdot \vec{b} \leq 1$$

を満たすための必要十分条件は

$$\boxed{\text{コ}} \leq x \leq \boxed{\text{サ}}, \quad x \leq \sqrt{\boxed{\text{シ}}} y \leq x + \boxed{\text{ス}}$$

である。 x と y が上の範囲を動くとき, $\vec{p} \cdot \vec{c}$ は最大値 $\sqrt{\boxed{\text{セ}}}$ をとり, この最大値をとるときの \vec{p} を \vec{a} と \vec{b} で表すと

$$\vec{p} = \boxed{\text{ソ}} \vec{a} + \boxed{\text{タ}} \vec{b}$$

である。

解答欄

氏名： _____ (_____ / 40点)

大問1 (_____ 点 / 20点)

大問2 (_____ 点 / 20点)

問1			
ア		シ	
イ		ス	
ウ		セ	
エ		ソ	
オ		タ	
カ		チ	
キ		ツ	
ク		テ	
ケ		ト	
コ		ナ	
サ		ニ	

問2			
ア		シ	
イ		ス	
ウ		セ	
エ		ソ	
オ		タ	
カ			
キ			
ク			
ケ			
コ			
サ			

正解

大問1 (点/20点)

ア y	$-y$	2
イ x	$2x$	2
ウ	0	2
(エオ, カ)	$(-4, 3)$	2
$\frac{\text{キ}}{\text{ク}}(\vec{AB} - \text{ケ} \vec{AC})$	$\frac{1}{2}(\vec{AB} - 2 \vec{AC})$	2
$\frac{\text{コサ}}{\text{シ}}$	$-\frac{4}{3}$	3
$\frac{\text{ス}}{\text{セ}}$	$\frac{4}{3}$	2
$\frac{\text{ソ}\sqrt{\text{タチ}}}{\text{ツ}}$	$\frac{2\sqrt{13}}{5}$	2
$\frac{\sqrt{\text{テト}}}{\text{ナニ}}$	$\frac{\sqrt{13}}{65}$	3

大問2 (点/20点)

$\frac{\text{アイ}}{\text{ウ}}$	$-\frac{1}{2}$	3
$\sqrt{\text{エ}}$	$\sqrt{3}$	3
オカ°	90°	3
$\frac{\sqrt{\text{キ}}}{\text{ク}}(\vec{a} + \text{ケ}\vec{b})$	$\frac{\sqrt{3}}{3}(\vec{a} + 2\vec{b})$	3
コ	0	1
サ	1	1
$\sqrt{\text{シ}}$	$\sqrt{3}$	1
ス	2	1
$\sqrt{\text{セ}}$	$\sqrt{3}$	2
ソ $\vec{a} + \text{タ}\vec{b}$	$2\vec{a} + 2\vec{b}$	2